



千葉県中小企業団体中央会会長

## 坂戸 誠一



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、希望あふれる爽やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日本の各地で台風や豪雨等の自然災害に見舞われ、本県におきましても台風26号や竜巻により大きな被害を受けました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、アベノミクス効果や米国経済の回復等により大企業を中心に緩やかな回復傾向を辿りました。しかしながら、中小企業の景況は、原材料や燃料のコスト増加等により、収益の改善が見られないなど、景気

回復の実感を得られない厳しい状況にありました。加えて、本年4月1日の消費税率の引き上げが消費低迷、景気後退を招き、中小企業の成長に大きな支障となること

が危惧されております。一方、地元千葉県におきましては、昨年4月に木更津東IC(東金)CTが開通し、圏央道・アクアラインという新たな国土軸の完成にまた一歩近づきました。千葉県内の圏央道が全線開通しますと、県内だけでなく首都圏からのアクセスが格段に良くなり、物流面・観光振興面においても千葉県にとつて大きな恩恵を受けることが期待できます。本県は、工業、商業、農業の各産業がバランスよく発達している県ですので、今後さらに「陸」の道路網の整備が進めば、千葉港、木更津港をはじめとする「海」と、成田空港という「空」の3つの恵まれた環境で高い成長ポテンシャルを持った県として産業界の期待が高まること予想されます。

こうした中小企業を取り巻く環境変化の中で、中小企業が成長・発展していくためには、企業の特

性にあった、より付加価値の高い製品やサービスを創出する企業に転換していくことが必要です。さらには、中長期的な戦略をもって連携ネットワークを構築し、お互いの優れた経営資源を有効に組み合わせ、経営革新や新分野進出など新たな事業展開を図っていくことが肝要であります。

本会といたしましても、国や県等の支援策を積極的に活用するとともに、やる気と能力のある中小企業が、組合等連携組織を活用して新たな課題にチャレンジしようとする際に、具体的な支援策を提議できる機関として、今まで以上に中核的な役割を果たしていけるよう、決意を新たにしているところでございます。

結びに、会員組合の皆様におかれましては、組合員の持つ力と英知を組合組織に結集して、ますますのご発展を遂げられますとともに、この新しい年が皆様にとりまして、より良い年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



千葉県知事

## 森田 健作

明けましておめでとごうござい  
ます。

千葉県中小企業団体中央会並び  
に会員企業の皆様には、輝かしい  
新春をお迎えのことと心からお慶  
び申し上げます。

県では新たな総合計画「新 輝  
け！ちば元気プラン」を策定し、  
次のステージに向けた一歩を踏み  
出しました。

この計画に基づき、災害に強い  
千葉県づくりや、第2の交番とし  
て期待されるコンビニ防犯ボック  
スを拠点に地域と連携した防犯対  
策など、安全・安心な県民生活の  
基盤を固めるとともに、県経済の  
活性化、農林水産業の競争力強化  
を図り、千葉県を更に発展させて

まいります。

圏央道については、茨城県稲敷・  
神崎間が今年の春に開通し、神崎・  
大栄間も平成26年度内に開通する  
予定です。引き続き、1日も早く  
全線開通が図られるよう努めてま  
いります。

また、成田空港では、平成26年  
度中の年間発着枠30万回の実現を  
目指しており、成田空港活用協議  
会と連携してアジアのグローバ  
ル・ハブ空港として一層の発展に  
向けた取り組みを進めてまいりま  
す。

さらに、本県への観光客の誘致  
を一層促進するため、私も先頭に  
立ち、本県の魅力を国内外に発信  
するとともに、一人でも多くの皆  
様に千葉の旅を楽しんでいただけ  
るよう、観光公衆トイレの整備促  
進など観光客の受入体制の強化に  
努めてまいります。

産業振興については、圏央道と  
アクアラインの接続の効果により、  
様々な業種で新規立地や新工場操  
業の動きが活発になってきており  
ます。この好機を更なる経済の活  
性化につなげるため、新たな立地  
企業補助金制度の導入や、工業団

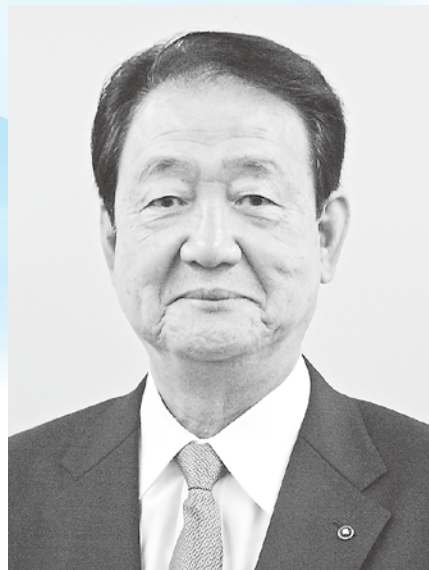
地の整備など、引き続き企業誘致  
に力を入れてまいります。

こうした政策の効果を、本県企  
業の99・8パーセントを占める中  
小企業の皆様に生かしていただく  
ためには、きめの細かい取り組み  
と併せて戦略的に施策を展開して  
いくことが重要です。県では、現  
在、中小企業者の皆様などの御意  
見を伺いながら、中小企業振興の  
基本方針である「ちば中小企業元  
気戦略」の見直しを進めていると  
ころです。本年は、これまでにい  
ただいた皆様の御意見を踏まえて  
「ちば中小企業元気戦略」を改定  
し、中小企業の元気があふれる千  
葉県づくりを目指してまいります。  
本年も、県民の皆様が「くらし  
満足度日本一」を感じ、誇れるよ  
うな「日本一の光り輝く千葉県」  
の実現に向けて、全力で県政運営  
に取り組む所存です。皆様の御支  
援、御協力をよろしくお願いいた  
します。

結びに、千葉県中小企業団体中  
央会のみますの御発展と、会員  
企業の皆様の御健勝をお祈り申し  
上げまして、年頭のあいさつとい  
たします。

全国中小企業団体中央会会長

## 鶴田 欣也



新年、明けましておめでとございます。

我が国経済は長く続いたデフレからの脱却をうかがう局面に入ってきましたが、中小企業は、電気料金、燃料・原材料等の高騰に伴うコスト増により、収益状況が依然として低い水準に止まるなど景気回復の実感が伴わない厳しい状況が続いています。加えて、今年4月1日から実施される消費税率の8%への引上げにより、その影響に堪え、乗り越えられるのか先行きが見通せない経営環境にあります。政府は、昨年9月から「経済の好循環実現に向けた政労使会議」を開催するなど物価の上昇とそれに見合う賃金上昇に向けた検討を行っています。私は、中小企業を代表して、この政労使会議に参画し、安倍総理に対して、中小企業の生産性向上に向けた設備投資や地域

のインフラづくり等の促進、下請け代金の引上げ等を強く要望するとともに、中央会として、ものづくり補助金等の施策をフルに活用して、中小企業が賃上げできうる経営状態になるよう全力を尽くしていく旨申し上げました。今年は、中小企業が下から上を跳ね返すような組合魂を持って果敢にリスクに挑戦する年にしていきたいと考えています。

私は、昨年の通常総会で3期目の会長職を務めることとなりました。トップセミナーや各ブロック会長会議等における会長同志の交流は、東日本大震災の発生後、絆の力を被災地に届ける際に大いに活かされたと自負しています。間もなく震災発生から3年を迎えますが、被災地の組合と中央会の懸命な努力や山積する今後の課題への対応を思うと、全国中央会の責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。消費税率の引上げへの対応には、国内の消費動向や引上げ税率の転嫁状況を注視しつつ、価格競争力を強化するための経営支援、ものづくり補助金を活用した生産性の向上支援、設備投資等のための税制及び金融支援など、持てる支援策をフル活用して取り組んでいく必要があります。特に、中央会は、価格交渉力が弱い納入業者が割を食うことのないよう転嫁や表示カルテルの組成を図り、消費税の円

滑な転嫁を成し遂げられるよう支援してまいります。

また、昨年秋口から中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会等で討議されてきた、小規模企業に焦点を当てた新たな法律が具体化します。小規模企業振興基本法(仮称)を早期に制定するとともに、必ず、小規模企業の連携・組織化支援を法文上に明確に位置づけてもらわなければなりません。小規模企業の開業率の向上には、女性が活躍している企業組合制度が効果的ですし、海外パートナーシップ等を活用した海外展開や黒字の小規模企業の増加を図っていくためには、企業間で連携していくことが効率的だと考えています。電力等エネルギーコスト、事業承継税制や個人保証等、そのほかに大切な政策課題は数多く残されていますが、1人1人の絆の力を結集して事に当たれば、必ず打開の道は拓かれるものと確信をしています。

2020年に東京において56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが開催されます。6年後には、震災復興も完了し、組合等連携組織に集う多くの皆様とともに笑顔で「おもてなし」をしようではありませんか。本年が皆様にとって、好機を実感できる素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶といたします。



株式会社 商工組合中央金庫  
千葉支店長

## 佐々木 渉

平成26年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は政府の経済政策への期待から年初より円安・株高が進行し、消費者マインドの改善や大型補正予算の効果により、個人消費や公共投資を中心に持ち直しの動きとなりました。その後は、日本銀行の金融緩和を受けた円安効果や海外経済の回復により輸出環境が改善したことから、企業の生産活動も次第に活発化しました。当金庫の「中小企業月次景況観測」によると、個人消費の盛り上がりや復興投資に牽引されて中小企業の景況感を持ち直

しつつあり、10月の景況判断指数は好転・悪化の境目となる50を6年7ヵ月ぶりに上回りました。ただし、仕入価格の上昇を販売価格へ転嫁が進まない中小企業も多く、先行きに対する不透明感は残っております。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み中小企業の皆さまや、デフレ不況等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みしました。平成23年5月より取扱を開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万7千件、2兆1千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、14万9千件、8兆9千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、昨年4月に事業規模を新たに1兆円追加するなど支援内容

を拡充・発展させた成長・創業支援プログラムを活用し、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、累計実績で1万2千件、6千億円を超えるなど着実に成果を上げることができました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、経営改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等、お取引先の皆さまが抱える経営課題、設備投資の取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましたこととご挨拶いたします。

## 地域の力を結集した「あおもりの藍」の復興と産業化

### あおもり藍産業協同組合

あおもりの藍を新たな技術により、磨き上げられた商品を域外に販売し産業化を目指す「地域のちから」が結集され、「地域資源活用プログラム」のベストプラクティス事業として地位を確立した。

#### 背景と目的

藍は、青色を発色する古くから世界中で使われてきた染料の一つであり、青森県においても江戸時代から農村などでは古くなった藍染の布を継ぎ重ね、**「ぼろ」**と呼ばれる着物や敷物を代々受け継いできた文化があった。しかし、近代になると藍の生産は減少し、現在では手芸用途以外はほぼ皆無となっていた。

当組合では、地元青森市の休耕地で契約栽培された藍の活用と、世界からも注目を集める藍染文化を有する青森において藍染を復興させたいとの想いから、平成18年9月に当組合を設立し、藍の保存と普及を図っていくこととなった。

#### 事業・活動の内容

藍染液を調製する技術の研究に取り組み、伝統技術と比較し、製品完成までの所要期間を20分の1以下に短縮するという独自技術を開発した。さらに、藍染商品は高額であるため、藍染の魅力を気軽に楽しむことができるポロシャツやTシャツ、木や皮革などに藍染を施した雑貨の商品化を予定している。天然藍には殺菌などの作用があることが古くから伝えられていることから、弘前大学と共同研究を実施し特許を取得するまでに至った。**「肌の良い効果」**を有する、**「青くない藍」**製品の開発にも取り組んでいる。

#### 活動の成果

当組合はこれまで、弘前大学との共

同研究による特許申請、動体裁断方式の独占使用権取得、JAXA宇宙船機内服への採用、国内外有名ブランドとのコラボレーション商品の開発、地域資源活用プログラム計画認定、ブランド化のためのプロデュース体制整備などを行ってきた。今後も産学官との連携を深め、地域資源を活かした新技術、新商品開発を行っていきたくと考えている。

組合員としては、縫製、刺繍、特殊印刷技術の応用、生産設備の整備等の受注が増加しつつあり、今後の本格的生産開始により、さらに大きなメリットが生ずると予想される。また、藍製品の生産増加に伴う藍栽培面積の拡大のため、生産者団体と栽培方式の規格化に関する協議を行っている。

このような活動を通じ、藍の生産・染料化、ものづくりを地域で行うことにより、藍生産面積を増加させ、産地化による農業所得、藍製品の生産による雇用創出、商品の販売による付加価値の獲得が可能となり、組合の目的である「藍の産業化」が実現できる。



アパレルブランドとのコラボレーション例

#### あおもり藍産業協同組合

住所：〒038-0031  
 青森県青森市大字三内字稲元85番地4  
 設立：平成18年9月  
 出資金：800千円  
 電話：017-766-0188  
 URL：—  
 業種：繊維製品製造業、印刷業、設備工事業  
 組合員：4人  
 組合専従者：2人（うち事務職員1人、  
 技術職員1人）

このコーナーでは、連携組織の活性化に意欲的に取り組む県内の組合事例等をご紹介します！

事業の概要

補助事業名	平成24年度連携組織活性化研究会			
対象組合等	千葉県貿易（協）			
	▼組合データ			
	理事長	越部 円	住 所	千葉市美浜区中瀬 2-6-1
	設立	昭和 35 年 2 月		WBG マリブイースト 23 階
	会 員	50人（平成25年12月現在）	業 種	異業種グループ
テーマ	組合員の新たな海外販路開拓のための組合ブランド構築について			
担当部署	千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部（Tel 043-306-2427）			
専門家	有限会社バリュー・コンサルティング 代表取締役 安藤 孝（中小企業診断士）			

背景と目的

① 千葉県貿易協同組合の概要

千葉県貿易協同組合は昭和35年に設立された県下唯一の貿易関連団体である。組合員数は約50社であり、主な事業として、貿易振興事業（講演会開催、各種見本市・展示会への参加、取引斡旋事業等）を通して千葉県貿易の振興に寄与すると共に、経営強化事業（貿易実務講座、海外視察事業等）、教育・福利厚生事業等を通して組合員の経営力強化を図っている。



（成田空港の組合店舗）

また、当組合の特徴として、成田空港内に直営の2店舗を保有し、共同販売事業を行っている点がある。この店舗の売上高は年間

約2億円であり、組合の大きな財務基盤となっている。

② 研究会の背景と目的

近年の組合を取り巻く経営環境は、リーマンショックや東日本大震災、また羽田空港の国際化の影響等により、直営店舗の売上高減少の影響が出始めている。

このような経営環境の中で、平成22年度より「成田ブランド研究会」を立ち上げ、組合員企業の更なる海外展開の可能性を探ってきた。この結果、組合ブランドを明確にして広く普及させることが組合員の海外展開に寄与する、との結論に達した。

- この結論を元に今回の研究会では次の二つの目的を設定した。
- 組合のブランド構築により、組合員の新たな海外販路開拓につなげるための戦略策定を行う。
- 今後の組合活動を見据えて平成25年度の中小企業海外展開支援事業補助金（JAPANブランド育成支援事業）を獲得する。

事業の活動内容

① 研究会の実施内容

研究会は目的に対応して、組合

ブランド戦略策定の検討を行い、その検討結果を元にJAPANブランド育成支援申請のための準備を行った。

研究会は、組合役職員を中心としたメンバーで2回開催された。

第一回研究会では中央会よりJAPANブランドの概要説明及び専門家よりブランド戦略に関する講演が行われた。その後、活発な討議を行い、ブランド戦略の方向性が決定した。

・当組合は異業種の組合員で構成されているため、組合ブランドの中に、複数の商品カテゴリーを持つものとする。

・ブランド名は従来から使用され組合員に馴染みのある

「COOTCA (Chiba Overseas Trade Co-op Association) トカ」とする。

第一回研究会の結論に基づき、組合役員、組合事務局、中央会、専門家等によりブランド戦略のとりまとめと、JAPANブランド育成支援事業の申請書の作成準備が進められた。

第二回研究会では申請書の概要について討議を行い、次の事項を決定した。

・プロジェクト名称は「COTCAブランド」創造プロジェクト」とする。

・複数の商品群を単一ブランドで構成する。商品群のカテゴリは当面、食品、民芸品、工業用品、技術の四つとする。

・主な事業計画は①ブランド確立のために勉強会実施、ロゴの作成②海外市場調査のために展示会調査、とする

第二回研究会の結論を元に、組合事務局を中心に申請書作成を行い、平成25年5月22日に採択の通知を得た。

## ② JAPANブランド育成支援事業の概要

JAPANブランド育成支援事業は、海外販路開拓につなげるために中小企業が協働して行う戦略策定や商品開発・海外展示会出席等を支援する事業である。平成16年から開始され、平成24年5月時点で272件が採択されている。

この事業は、①戦略策定段階への支援、②ブランド確立段階への支援(3年間)の二つの支援があり、①を経て可能性のあるものが②に進めるようになっていく。

今回、当組合が申請・採択され

た事業は戦略策定段階への支援であり、補助金は200万円である。

## ③ 「COTCAブランド」

前述したように、当組合は異業種の組合であり、組合員は多様な商品を販売している。この強みを生かすために、COTCAブランドは組合員企業の商品・サービスの内容を整理することにより、4つのカテゴリで構成する複合ブランド戦略をとることとした。カテゴリ別の主な商品及び参加企業数は次の通りである。

- ・食品カテゴリ…わさび落花生、伊勢海老煎餅等4社
- ・民芸品…千葉県に因んだこけし、人形や和装飾り物等6社
- ・工業用品カテゴリ…包丁、医療品等4社
- ・技術カテゴリ…建築等4社

これにより、個々の企業の優れた商品を組合として統一ブランドで販売することができ、新たな販売拡大につなげることが期待でき

## 事業の成果

今回の研究会の成果は何と言っ

てもJAPANブランドの採択を得たことである。これによって当組合のブランド戦略の遂行がJAPANブランド育成支援事業のステップに沿った形で推進できる点

が大きな成果である。また、COTCAブランドのロゴシールのついた商品を成田空港店舗で販売でき、ブランド普及や販売拡大に利用できる。

更にブランド認知度が高まれば、海外に販路を求める中小企業からの組合加入が増加する可能性もある。また将来、組合員企業が連携して新商品を開発し、COTCAブランドで販売することも考えられる。

## 今後の事業展開・展望

### ① 本年度の活動

今回の研究会を通して、JAPANブランド育成支援事業の採択を得た結果、平成25年度では戦略策定事業を行うことができる。

既に、平成25年10月にはバンコクにおけるジェトロアセアンキャラバンの展示会調査等の市場調査を実施している。



(バンコク展示会の様子)

また、平成26年2月に法兰克福ト アンビエンテにおいて展示会調査等、欧州における市場調査を行う予定である。

これらの市場調査と並行して、ブランドロゴの製作、ロゴシールの作成等を行っている。

### ② 平成26年以降の展開

JAPANブランド育成支援事業の第二ステップとして「ブランド確立支援」を3年間に互って実施することができる。この支援により共同製品開発、展示会への出店、ブランド管理体制の整備等、更に具体的な組合員の海外販路開拓に寄与することが期待できる。

(安藤孝)



<p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 清水 延年</p>	<p>千葉県農業機械商業（協） 理事長 小関 邦夫</p>	<p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p>	<p>千葉県石油（協） 理事長 堀江 亮介</p>	<p>千葉県醬油工業（協） 代表理事 太田 昭吉</p>
<p>千葉振興建設業（協） 代表理事 船越 博文</p>	<p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 花澤 長文</p>	<p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田一太郎</p>	<p>千葉県自転車軽自動車商（協） 代表理事 山口 道博</p>	<p>千葉県遊技業（協） 理事長 大城 正準</p>
<p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 理事長 真田 一伸</p>	<p>千葉県建設防水工事業（協） 理事長 糠信 雄司</p>	<p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p>	<p>千葉県生コンクリート工業組合 理事長 鈴木 実</p>	<p>千葉船業（協） 代表理事 田原 安</p>
<p>千葉市廃棄物リサイクル事業（協） 代表理事 飯田 俊夫</p>	<p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 影山 喜一</p>	<p>千葉防食ライニング工事業（協） 理事長 阪野 幸夫</p>	<p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 矢島 一郎</p>	<p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 鈴木正一郎</p>

<p>千葉鉄工業団地（協） 代表理事</p> <p>坂戸 誠一</p>	<p>千葉市工業センター（協） 代表理事</p> <p>黒木 憲一</p>	<p>野田工業団地（協） 代表理事</p> <p>飯塚真太郎</p>	<p>千葉県板硝子商工（協） 代表理事</p> <p>成田 一郎</p>	<p>千葉トヨペット整備工業（協） 代表理事</p> <p>勝又 隆一</p>
<p>千葉青果商業（協） 代表理事</p> <p>上野 宏幸</p>	<p>千葉県貿易（協） 代表理事</p> <p>越部 圓</p>	<p>野田市中里排水処理（協） 理事長</p> <p>吉田 光宏</p>	<p>千葉中央生コンクリート（協） 理事長</p> <p>柴田 文成</p>	<p>（協）千葉設備協会 理事長</p> <p>池田 潔</p>
<p>八千代市管工事（協） 代表理事</p> <p>橋爪 秀悟</p>	<p>（協）シー・ティー・ティー 代表理事</p> <p>青沼 彰</p>	<p>市原市管工事（協） 代表理事</p> <p>斎藤 寛</p>	<p>送変電機器千葉（協） 代表理事</p> <p>菊池 康文</p>	<p>千葉県保険流通（協） 代表理事</p> <p>森脇 健二</p>
<p>千葉港湾湾運送事業（協） 理事長</p> <p>公手 眞</p>	<p>船橋機械金属工業（協） 代表理事</p> <p>板谷 直正</p>	<p>船橋総合卸商業団地（協） 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p>	<p>船橋総合建設（協） 代表理事</p> <p>櫻井 敬</p>	<p>千葉学習塾（協） 代表理事</p> <p>西出 一信</p>

<p>ふなばしインタックス(協) 代表理事 篠原 敬治</p>	<p>松戸ビル管理業(協) 代表理事 山下 勉</p>	<p>野田市再資源化事業(協) 代表理事 西村 久行</p>	<p>柏駅前第一商業(協) 代表理事 三好 迪夫</p>	<p>千葉青果卸売(協) 代表理事 本山 昭児</p>
<p>柏市工業団地(協) 代表理事 藤井 秀美</p>	<p>流山トラック事業(協) 代表理事 伊ヶ谷武雄</p>	<p>流山工業団地(協) 代表理事 高橋 啓治</p>	<p>浦安建設(協) 代表理事 鹿野新一郎</p>	<p>浦安市書店(協) 代表理事 小林 栄喜</p>
<p>野田市商業(協) 代表理事 仲長 孝</p>	<p>浦安市リサイクル資源(協) 代表理事 醍醐 辰雄</p>	<p>印旛食肉センター事業(協) 代表理事 小川 進</p>	<p>臼井ショッピングセンター(協) 代表理事 野口 恭義</p>	<p>四街道工業団地(協) 代表理事 清水 敬陽</p>
<p>(協)酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p>	<p>(協)佐原信販 代表理事 鈴木 重夫</p>	<p>千葉県木材市場(協) 代表理事 吉岡 實</p>	<p>(協)東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p>	<p>山武管工事業(協) 代表理事 高橋 洋一</p>

<p>千葉県漬物工業（協） 代表理事 古宮 真一</p>	<p>千葉県酒造（協） 代表理事 莊司 文雄</p>	<p>大原中央商店街（協） 代表理事 芝野 明</p>	<p>長生都市管工事（協） 代表理事 小関 正幸</p>	<p>海匠ガス事業（協） 代表理事 佐藤 衛</p>
<p>千葉県板金工業組合 代表理事 磯野 恒夫</p>	<p>千葉県電機商業組合 代表理事 佐々木 義</p>	<p>柏市廃棄物処理業（協業） 代表理事 鈴木 隆</p>	<p>千葉県建設業（協）連合会 代表理事 石井 良典</p>	<p>（協）システムネット北千葉 代表理事 原 富義</p>
<p>柏建設業（協） 代表理事 山田 邦明</p>	<p>（振興）柏二番街商店会 代表理事 石戸新一郎</p>	<p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事 宮崎 登</p>	<p>千葉県鍍金工業組合 代表理事 瀧澤 近弘</p>	<p>千葉県牛乳商業組合 代表理事 高橋 束</p>
<p>千葉県中小企業 福利厚生協議会</p>	<p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事 山口 真延</p>	<p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長 田村 修二</p>	<p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会会長 中嶋 敏夫</p>	<p>千葉県自動車販売店協会 会長 加藤 勇</p>

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向(11月)

## 製造業

### 豆腐製造

【県下全域】

豆腐業界全体で、消費税増税時の転嫁・表示カルテルについて、議論が行われている。売上について、11月は、予想通りの上り傾向だった。

### 酒類製造

【県内全域】

景況感は上向きになるも、実際に結びついていない。

### 製材

【木更津】

11月はロシア材1隻、南素材1隻、米材1隻3隻の入船があったが、在庫数量は増えてきていない。

### 印刷

【県内全域】

11月の県内印刷会社受注売上は10月と比較し若干増加した模様である。年末から正月に向けての季節需要や消費税増税前の駆け込み需要を喚起したい業界からの特需、さらには5%から8%に表記を修正する必要のある印刷物等の特需などが動き出している。

### 電気鍍金

【県内全域】

アベノミクスの三本の矢が打たれて半年が過ぎたが、大手企業は景気上昇の報道があるが、中小企業ではまだその矢一本も届いていない。

## 鉄工

【千葉】

大企業(特に輸出型企業)の増収、増益による業績上方修正の明るいニュースも多いが、現状、中小企業へ波及するところまでには至っていないため、組合員各社においては歯がゆい状態が続いている。

### 機械部品製造

【野田】

前月と変わらず、まだまだ不安定な状況。業界動向は、上向きにあるかの様子が伺える。

### 機械部品製造

【流山】

全体的には、売上が落ちていくようで、厳しい状況である。景気の動向は、不透明である。

### 機械部品製造

【柏】

業種、業界等、取引別まだら模様(増加・不変・減少)等の変化が激しい。但し、前年と比較したら明らかに、円安・株高等の条件が好転している分、マインドは上がった。

### 金属製品製造

【船橋】

仕事量は増加しているが、採算性に直接は結びつかない。アベノミクスによる、景況感明るくなっており、売上高も増加。

### 採石

【県内全域】

11月は出荷が期待できたものの、台風の影響等で東京湾内が荒れたために、船での出荷ができず、大はばに落込み、

厳しい状況が続いている。

### 土砂採取

【県内全域】

今月は、全体的に10月の状況報告と概ね変わらない。平成24年11月の状況報告では、前年同月の状況は、骨材の需要が悪化の一途をたどり、又今後の需要が全く見込めない所が大半であったが、今月は前年同月比では、全体的には売上の増加、販売価格の上昇がみられ、業界の景況にはやや好転が見られる。

### 非製造業

【総合卸売(千葉県・東京都)】

【日用品雑貨卸】円安影響から、紙類・洗剤類等、前年比価格上昇の傾向。但し、運送費等のコストアップがあり、採算性は低調のまま。仕入価格上昇による決済資金負担増。

### 建築材料卸売

【県内全域】

建設基礎資材セメント需要全国前年比105.1、関東前年比100.0、千葉前年比95.4。人出不足・資材不足・輸送力不足が顕著であるが、利益には結びつかず好況感を感じられない。

### 卸売

【茂原】

都市で騒いでいる程、地方での景気の上昇は感じられないが少し景気が動いているよう

な気がする。

### 小売

【柏】

景況の変化は、業種によって差が出ている。

### 電気機器小売

【県内全域】

全体として、各店の売上にはばらつきがあり、雰囲気としてアベノミクスの影響か、消費税の決定か、好転している感じがする。

### 青果小売

【千葉】

年間を通じて、一番商品が動かない月であるにも関わらず、売上的には前年を大きく上回った。これは、例年がない異常な状況といえる。今後の組合員の資金面で不安が残る。

### 中古車仕入・販売

【県内全域】

出品は前年同月比でアップすることができ、タマ不足も若干落ち着いた状況。

### 小売

【東金】

ファッション関連品は、冬物が動き始めたが、下旬より価格競争が始まってきている。食品関係は、少しずつ値上がり傾向にある。組合員の資金繰りが厳しくなってきた。

### 小売

【野田】

ようやく寒さを迎え、冬物商品が動き出した感がある。

### 小売・サービス

【柏】

景況の変化は、商圏内に11月下旬に複合ショッピングセンターが開店し、商店街は11月いっぱい人通りも極端に少なくなりました。

需要増、供給附属状況、受注車輛も一部で若干上昇傾向になってきた。

### 建設揚重

【県内全域】

観光客は前々年(前年)今年と戻ってきているが、秋以降台風の関係で、遊覧船の方はまだまだという感じである。

### 遊覧船

【鴨川】

年末に向けてか、平成26年2月より家庭ごみ有料化の影響か、とてもよい結果となった。

### ソフトウエア

【県内全域】

前月同様、一進一退の状況が続いている。但し、良い悪いが二極化して来ているように思える。

### 建設

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注は、70億3千万円であった。これは、前月比でマイナス49億2千5百万円の減少。前年同月比では、ほぼ同額であった。

### 輸出入

【県内全域】

10月には前月比は減少し、前年同月比は増加した。昨年から見ると景況感が良い。

# 千葉県特定最低賃金改正決定について

千葉県労働局

下記産業の事業場で働く労働者に適用される7業種の特定最低賃金が下記のとおり改正されました。

支払賃金を最低賃金と比較する場合、賃金から精皆勤手当、通勤手当、家族手当、時間外勤務手当、休日出勤手当、深夜勤務手当、賞与及び臨時の賃金は除外します。

業種		改正額 (時間額)	発効日	改正前 (時間額)	引上げ額
特 定 最 低 賃 金	調味料製造業	827円	平成25年12月25日	817円	10円
	鉄鋼業	867円	平成25年12月25日	857円	10円
	はん用機械器具、生産用機械器具製造業	843円	平成25年12月25日	833円	10円
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	846円	平成25年12月25日	836円	10円
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具製造業、医療用機械器具・医療用品製造業、光学機械器具・レンズ製造業、時計・同部分品製造業、眼鏡製造業	829円	平成25年12月25日	819円	10円
	各種商品小売業	807円	平成25年12月25日	795円	12円
	自動車（新車）小売業	838円	平成25年12月25日	827円	11円

(参考)

千葉県最低賃金	改正額 (時間額)	発効日	改正前 (時間額)	引上げ額
	777円	平成25年10月18日	756円	21円

## 中央会の主な事業等活動予定（1月）

平成25年12月20日現在

月日	曜日	内 容	担当部署
<b>■ 中小企業連携組織対策事業</b>			
1/17	金	<b>組合等新分野開拓支援事業</b> 対象：千葉県印刷工業組合	工業連携支援部 ☎ 043・306・2427
1/22	水	<b>組合管理者等講習会（組合決算講習会（柏））</b> 対象：会員組合	工業連携支援部
		<b>連携組織活性化研究会</b> 対象：千葉県自転車軽自動車商協同組合	商業連携支援部 ☎ 043・306・3284
1/23	木	<b>組合青年部研究会</b> 対象：千葉県菓子工業組合	工業連携支援部
1/27	月	<b>組合等新分野開拓支援事業</b> 対象：船橋機械金属工業協同組合	工業連携支援部
1/29	水	<b>連携組織活性化研究会</b> 対象：千葉県火災共済協同組合	工業連携支援部
		<b>組合管理者等講習会（組合決算講習会（千葉））</b> 対象：会員組合	工業連携支援部
		<b>連携組織活性化研究会</b> 対象：千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合	商業連携支援部
<b>■ 組合等基盤強化事業</b>			
1/28	火	平成25年度第2回官公需普及促進懇談会	商業連携支援部
<b>■ 全国中央会補助事業</b>			
1/17	金	平成24年度補正 地域中小企業の人材確保・定着支援事業 2014 合同企業説明会 in 幕張	工業連携支援部
<b>■ 団体支援事業</b>			
1/14	火	商業4団体合同委員会	商業連携支援部
		県内商業4団体との意見情報交換会	商業連携支援部
<b>■ その他</b>			
1/24	金	第3回正副会長会議	総務部 ☎ 043・306・3281
		第2回理事会	総務部
		平成26年中小企業団体千葉県新春交流会	総務部



### 千葉県中小企業団体中央会

### 平成26年 中小企業団体千葉県新春交流会

を下記のとおり開催します。

**平成26年1月24日（金）15:00～17:30**

**会場 ホテルニューオータニ幕張 千葉市美浜区ひび野2-120-3**

本交流会は、中小企業組合活動に多大な功績を挙げられた方々をお祝い申し上げますとともに、新年に対する抱負等をご歓談いただき、会員皆様の相互交流を深めていただくために開催するものです。つきましては、会員皆さまに多数ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

◎お問合せは本会総務部まで（Tel 043-306-3281）